

## 赤き翼の変態紳士 RED BARON

# シーア SHIA

身長	138cm
アイタイプ	青
誕生日	5/2
出身	ベーエルデー連邦
趣味	少女と戯れること
好きな物	(幼い)可憐な少女
嫌いな物	俗物な人類

『レッド・バロン』の通り名で知られるベーエルデー最強の空戦メード。Gという宿敵がいなくなってからは姿を消していたが、此度の乱を受けて久方に表舞台に出演する。その目的は――。

必殺技	レッドシュート	↓↘→+P(空中可)
	クリムゾンロータス	↓↙←+P
	スカーレットダンス	↓↓+K(空中可)
	トリックツヴァイ	(スカーレットダンス中に) ↓↘→+K
	サーマルファントム	↓↙←+D
特殊技	三段跳び	(二段ジャンプ中に)↑
	滞空飛翔	↓↑↓+D
	紳士的に口説く	挑発ボタン
超必殺技	ヴォルカニック・ロンド	←↙↓↘→+P
	レッド・バロン	↓↙←↓↙←+P
一撃必殺技	紳士の我慢も	↘↙↘↙←→↓↑+
	コレまでだ!	P&K同時押し



## キャラ紹介

Gという人類との共通の敵がいなくなってから、忽然と行方を眩ませた彼女だったが、この度の乱において再び表舞台にその姿を現した。

「ふっ……最も可憐で愛らしいメードを決める、か、その審議に乗らずしてレッド・バロンは名乗れまいな！」  
そうしてシーアは再び翼を舞わせる。  
未だ見ぬ愛らしい乙女たちと出会うために

## キャラ仕様紹介

家庭版では、5人の空戦メードキャラクターでアーケードモードをクリアすると出現する。

驚異的な機動力を発揮するキャラクターでありながら、汎用性に富んだ技を持つ。

また基本攻撃のリーチこそ短いものの、技の射程距離と移動速度で補って余る。

ただし防御力は最低値であり、また技にスーパーアーマーや無敵時間がないものが殆ど。

きちんと回避や防御ができるプレイヤーでなければその早さに翻弄されるだけになってしまう、玄人向けのキャラクター。

またキャラクターの特性上、プレイヤーには常に紳士的な態度が求められるのが暗黙のルールらしい。

空気の読めない人やマナーのない人が使うとリアルファイトになりかねないので、ゲーセンでは要注意である。

## 必殺技

### ■ レッドシュート

ルガー拳銃による射撃攻撃、いわゆる波動。だが、弾速は早め。一ゲージ消費 + 強ボタンで連続撃ちに。

画面端から撃つと反対端の二歩手前で消失するのは仕様。10発撃つとリロード動作となり隙が生じるので、ハメは程々に。

#### ■ クリムゾンロータス

地面すれすれを滑走して切り払う、スライディング技。発生はやや遅めで、ジャンプで避けられると格好の餌食にされるので注意。弱と強で滑走距離が変わる。また一ゲージ消費のEX技では炎上エフェクトが追加され、ヒットさせると相手の防御力を10秒間ダウンさせるオマケが付くが、ガードされると無効。

#### ■ スカーレットダンス

その場で一回転しながら上昇する技。剣と翼で複数のヒット判定があり、それぞれヒットエフェクトが異なる。発生が早い主力技で、対空技としてももちろん利用できる。一ゲージ消費でド派手になり、ヒット回数と威力も増える。

#### ■ トリックツヴァイ

スカーレットダンスからの派生技。スカーレットダンスがヒット中に入力することで、相手を蹴って画面端までノックバックする。

一度のコンボでかなりの威力を稼げるのでヒットさせたなら、必ず成功させたい。ただしガードした相手にはくれぐれも発動しないように、蹴った直後は密接状態になるので、カウンターで投げ技でもされたら目も当てられない。

#### ■ サーマルファントム

カウンター技。相手の攻撃がヒットする瞬間に発動すると、炎の屋気楼で空振りさせ、背後から強烈な蹴りを見舞って相手をダウンさせる。

極めると手が付けられないが、入力タイミングはかなりシビア。格ゲー初心者にはまず不可能だったりする。

## 特殊技

---

#### ■ 滞空飛翔

入力することで、一定時間空を飛ぶ技。十字キーの入力方向に向かってダッシュの速度で飛翔するが、発動時間中は完全にガード不能状態となるため使い勝手は悪い。発動中はDボタンで、ゲージを消費してスウェーするようになるので、一応の回避は可能。この技の真価は、鈍重で飛び道具のない相手を空中から痛めつけることにある……が、正直紳士じゃないし、嫌われるのでオススメしない。

#### ■ 紳士的に口説く

挑発ボタンでシエアの変態紳士っぷりが火を噴く。その台詞とエフェクトパターンを見ているだけで数時間は過ぎる恐ろしさ。相手がニュートラル状態だと会話パターンが発生するので、ゲーム制作者は力の入れどころを間違っているとよく言われる。台詞と相手によって、自分の攻撃力を高めたり、相手のゲージを下げたり、逆に自分が下がったり、多種多様な作用を与えるギャンブル性の高い技(?)。

なお、当然ながら隙がでかいので、相手がガチプレイヤーや空気を読んでくれない人だったら、使わないのが一番なのだが

それでは変態紳士を使う資格はない。

一戦一口説き。それが紳士の嗜み。

## 超必殺技

---

#### ■ ヴォルカニック・ロンド

一ゲージ消費技。

クリムゾンロータスからスカーレットダンスへ繋ぐような見た目だが、威力も派手さも段違い。

最後に蹴りで締めて相手をダウンされるので、きちんとヒットさせれば隙はない。ここぞというコンボの締めめに用いたい、主力技。

#### ■ レッド・バロン

二ゲージ消費技。

爆炎を纏ったシエアが、前方へ超スピードで突進する秘技。通った直後に炎の渦が後を追うので、クリーンヒットすると凄まじいヒット数になる。

他のEX技や超必殺技とは異なるカットインが入るので、一見の価値あり。

## 一撃必殺技

---

#### ■ 紳士の我慢もコレまでだ！

ゲージ三本使用。

理性のぶっ飛んだシエアが、変態紳士の掟「相手に強要せず、けして嫌がる少女に手を出さない。」という鉄の掟を度外視して、相手を掴み掛かり押し倒す技。

成功すると、何処からか緞帳が下がってライトダウン。そして流れる美麗アニメのカットインと音声。気がつけば勝利してる不思議。

鬼のような入力コマンドだが、カットインの種類やら台詞の種類やら、何故ここまでという気合いの入りようなので必見である。

しかし正直、お子様立ち入り禁止の楽園であり、この技のせいでこのゲームがR禁指定されてしまったのではとされている。ゲージで発動したときの空気の気まずさは何とも言えない。

また、相手によっては逆にシエアが敗北しているという、レアパターンも存在する。家庭版でお友達と是非探してみよう。

## エンディング

---

「.....しまった。審議するつもりが、いつの間にか私が優勝してしまうとは.....不覚だ」  
間もなく表彰式という中、シーアは一人唸った。あまりに本末転倒すぎる結果である。  
今の自分は、表舞台で評されるべき立場にはないというのに。  
何故なら、けして目立たず影ながら可憐な少女達を見守るのが、瀟洒たる紳士の嗜みなのだから。  
ともなれば、為すべき事はひとつである。

そうしてシーアは、表彰式に出ることなく、再び行方を眩ませるのだった。

.....どこかの路地裏で、幼き少女の悲鳴が木霊したとき。  
.....どこかで、メードを悪用しようとする利己に溺れた輩が現れたとき。平和の世に戦火を企てる者が現れたとき。  
野蛮な人間、悪しき者。平和な世であっても消え失せることのない邪悪が少女を、残されたメードを脅かすとき。  
赤い翼をはためかせて、彼女は現れるのだ。  
「覚えておけ人類。私は愛されるべき少女たちの平穏を脅かす俗物に容赦しない。何故なら私は“レッド・バロン”、.....永遠に少女を愛する、赤き翼の紳士なのだからな」

---